



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東
 コード番号 6166 URL <https://www.nakamura-gp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田植 啓之 (TEL) 072-274-0007
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	746	△15.2	△11	—	45	450.5	234	—
2025年3月期第1四半期	880	36.5	2	—	8	—	3	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 232百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	21.23	—
2025年3月期第1四半期	0.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,300	1,051	19.7
2025年3月期	5,355	819	15.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,042百万円 2025年3月期 810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,340	△12.2	△15	—	25	—	△10	—	△0.91
通期	3,000	13.6	35	350.1	55	—	10	—	0.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	11,020,900株	2025年3月期	11,020,900株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1株	2025年3月期	1株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	11,020,899株	2025年3月期1Q	11,020,899株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復により、緩やかな回復傾向となりましたが、米国の関税政策の動向によっては景気の下振れが懸念される状況にあります。世界経済においては、米国の政策変動による景気の先行き不透明感が急速に高まっているとともに、ロシア・ウクライナ紛争や中東地域における緊張の長期化、中国経済回復の遅れや原材料・エネルギーコストの高止まりの継続等、わが国経済を取り巻く世界情勢は予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、特殊精密機器事業においては実装機用ノズルや電子部品業界向けの販売は堅調に推移したものの、ベアリング業界向けや自動車部品メーカー向け耐摩耗工具分野の販売が低調に推移しました。化学繊維用紡糸ノズル事業においては、炭素繊維用ノズル、不織布関連ノズル共に堅調に推移しましたが、D-Nex t事業においては、半導体・パワー半導体の市況低迷により、主力顧客へのダイヤモンドワイヤ販売が低調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は746百万円（前年同期比15.2%減）、営業損失は11百万円（前年同期は2百万円の営業利益）、経常利益は化学繊維用紡糸ノズル事業における在庫の一部売却による原材料売却益の計上により45百万円（前年同期比450.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は江蘇三超社との国際仲裁における仲裁判断（中間判断）に基づき、受領済契約対価の収益未計上及び江蘇三超社に支払いが命じられた輸送費等を特別利益に計上したことにより234百万円（前年同期は3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、新規アイテムである新素材で製作した実装機用ノズルの量産出荷が本格化しており、実装機用ノズルや電子部品業界向けの販売は堅調に推移いたしました。一方で、米国による自動車への追加関税の影響を受け、ベアリング業界向けや商社経由での自動車部品メーカー向けの耐摩耗工具分野の販売が低調に推移しました。

これらの結果、売上高は178百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期は0百万円セグメント利益）となりました。

② 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業については、風力発電用ブレード向けを中心とした炭素繊維用ノズルの旺盛な需要により、受注・売上ともに好調に推移した前年同期と比較すると減収減益となったものの、風力発電用ブレード向け及び航空機向け炭素繊維用ノズルの販売が堅調に推移したとともに、不織布関連ノズルの販売も堅調に推移し、売上・利益ともに計画通りに推移いたしました。

これらの結果、売上高は514百万円（前年同期比19.0%減）、セグメント利益は37百万円（前年同期比32.6%減）となりました。

③ D-Nex t事業

D-Nex t事業については、国内大手顧客の開拓は完了し、パワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤ販売は順調に伸長してきましたが、当第1四半期においては半導体・パワー半導体の市況低迷の影響を受け、主力顧客の工場稼働率が低下したため、ダイヤモンドワイヤの販売が低調に推移しました。

これらの結果、売上高は52百万円（前年同期比9.3%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

④ マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトについては、一部の用途分野において正式採用が決定いたしました。また、量産期待値の高い電子部品封止剤やガス吸着用途分野においては顧客やエンドユーザーにおける正式採用に向けた評価が継続しております。また、引き合いが増加している触媒用途や分離膜用途等の新規用途分野向けへのサンプル提供を継続いたしました。

これらの結果、売上高は1百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント損失は22百万円（前年同期は31百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産

商品及び製品が85百万円増加、現金及び預金が65百万円増加したものの、仕掛品が187百万円減少、機械装置及び運搬具が33百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ54百万円減少し5,300百万円となりました。

② 負債

前受金が186百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が45百万円減少、電子記録債務が43百万円減少したこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ286百万円減少し4,248百万円となりました。

③ 純資産

利益剰余金が234百万円増加したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ231百万円増加し1,051百万円となりました。

この結果、自己資本比率は19.7%（前連結会計年度末は15.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日付決算短信において公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,308,830	1,374,400
受取手形及び売掛金	264,375	304,642
電子記録債権	55,494	88,680
商品及び製品	19,819	105,808
仕掛品	613,775	426,513
原材料及び貯蔵品	137,147	117,185
その他	59,275	39,085
流動資産合計	2,458,717	2,456,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	945,615	931,533
機械装置及び運搬具(純額)	1,252,122	1,218,459
土地	614,882	614,882
その他(純額)	45,634	42,995
有形固定資産合計	2,858,254	2,807,870
無形固定資産	8,674	7,467
投資その他の資産		
投資その他の資産	63,387	62,756
貸倒引当金	△33,923	△33,923
投資その他の資産合計	29,463	28,832
固定資産合計	2,896,393	2,844,170
資産合計	5,355,110	5,300,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,576	51,332
電子記録債務	43,344	-
前受金	186,666	-
契約負債	252,283	260,345
短期借入金	2,040,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	512,503	466,672
リース債務	21,446	23,325
未払法人税等	20,571	4,383
賞与引当金	8,616	18,339
受注損失引当金	25,647	14,302
その他	114,331	134,842
流動負債合計	3,291,986	3,013,543
固定負債		
長期借入金	279,186	266,688
リース債務	70,380	83,242
退職給付に係る負債	225,602	223,015
資産除去債務	50,779	50,961
その他	617,411	611,538
固定負債合計	1,243,361	1,235,446
負債合計	4,535,347	4,248,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	349,042	349,042
資本剰余金	299,042	299,042
利益剰余金	182,569	416,594
自己株式	△0	△0
株主資本合計	830,654	1,064,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△678	△789
繰延ヘッジ損益	△34	-
為替換算調整勘定	△19,759	△20,957
その他の包括利益累計額合計	△20,472	△21,746
新株予約権	9,582	8,564
非支配株主持分	-	-
純資産合計	819,763	1,051,496
負債純資産合計	5,355,110	5,300,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	880,010	746,377
売上原価	685,066	568,069
売上総利益	194,943	178,308
販売費及び一般管理費	192,935	189,358
営業利益又は営業損失(△)	2,008	△11,050
営業外収益		
受取利息	26	114
受取配当金	18	30
助成金収入	21	21
為替差益	2,131	-
補助金収入	12,156	1,000
原材料売却益	-	69,063
その他	1,398	1,232
営業外収益合計	15,752	71,461
営業外費用		
支払利息	8,652	12,552
為替差損	-	1,628
その他	868	868
営業外費用合計	9,521	15,049
経常利益	8,239	45,361
特別利益		
固定資産売却益	-	207,097
新株予約権戻入益	1,865	1,017
特別利益合計	1,865	208,115
特別損失		
固定資産除却損	0	25
減損損失	6,294	19,989
訴訟関連費用	-	1,696
特別損失合計	6,294	21,711
税金等調整前四半期純利益	3,810	231,765
法人税、住民税及び事業税	5,229	3,547
法人税等調整額	△4,939	△5,807
法人税等合計	290	△2,259
四半期純利益	3,520	234,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,520	234,024

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	3,520	234,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△110
繰延ヘッジ損益	108	34
為替換算調整勘定	2,604	△1,198
その他の包括利益合計	2,655	△1,274
四半期包括利益	6,175	232,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,175	232,750
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	185,297	635,025	57,812	1,875	880,010	—	880,010
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,858	—	—	—	1,858	△1,858	—
計	187,156	635,025	57,812	1,875	881,869	△1,858	880,010
セグメント利益 又は損失(△)	189	55,970	△33,362	△31,471	△8,673	10,682	2,008

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1	合計額
減損損失	—	—	5,129	—	5,129	1,165	6,294

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	178,022	514,232	52,411	1,710	746,377	—	746,377
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,183	431	—	—	1,615	△1,615	—
計	179,206	514,664	52,411	1,710	747,992	△1,615	746,377
セグメント利益 又は損失(△)	△7,015	37,708	△28,431	△22,578	△20,316	9,266	△11,050

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額	合計額
減損損失	19,989	—	—	—	19,989	—	19,989

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	54,941千円	54,265千円